

第2回 徳島県鳴門総合運動公園野球場の在り方検討会議 会議録

- I. 日 時 : 令和4年1月19日(水) 午後2時30分から午後5時まで
- II. 場 所 : 鳴門・大塚スポーツパーク
- III. 出席委員 :
- 美馬会長、十川委員、須崎委員、横田委員、白石委員、龍田委員、中尾委員、
小川委員、赤尾委員、谷委員、朝日委員、木下委員、西上委員
- IV. 次 第 :
1. 開会
 2. 現地視察
 3. 議事
 - (1) 基本計画策定に向けた検討について(資料1)
 - (2) 第1回検討会議における意見の集約について(資料2)
 - (3) 類似する他県の野球場の状況について(資料3)
 - (4) 質疑応答
 4. 閉会
- V. 配付資料等 :
1. 【資料1】基本計画策定に向けた検討について
 2. 【資料2】第1回検討会議における意見の集約について
 3. 【資料3】中四国各県の主な野球場比較表
 4. 次第、委員名簿
- VI. 会 議 録 :

【会長】

それでは皆様お疲れ様でございました。

今日の格別寒いときに長時間に渡って予定より長く見ていただきました。じっくりと見ていただけたとは思いますが、また後程ご質問等がいろいろありましたら、よろしく願い致します。

それでは、改めてまして第2回検討会議を開催したいと思います。皆様方今のご覧になっていろいろお感じになることがあったと思います。かなり老朽化した状況を見ていただいて、いろいろ思うところもあると思うのですけれども、まずは次第に沿って議事を進めさせていただこうと思います。

それでは事務局より本日の議事についてご説明があります。

【事務局】

改めまして徳島県スポーツ振興課の秋山でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。着座にて説明させていただきます。

お手元に配付させていただいております資料にそって説明申し上げます。

まず「資料1」でございます。基本計画策定に向けた検討についてというタイトルの資料でございます。前回の検討会議におきまして、「オロナミンC球場」が老朽化し、建築物としての「耐用年数」が近づいていること。また、今の時代における「当たり前」の機能が不足していることなど、「安全面」「利用面」とともに、課題を抱えている施設である旨を、説明させていただきました。

県といたしましては、オロナミンC球場を利用する皆様が安心して、快適にご利用いただける環境を整えていく必要があることから、まずは、これら諸課題の解決に向けた「基本計画」を策定する必要があると考えており、この「基本計画」に記すべき項目の内、いくつかの点について、本検討会議における議論を踏まえて策定して参りたいと考えているところであります。

つきましては、「基本計画」に記載すべき項目や、特に、検討会議の皆様よりご意見を頂きその内容を決めて参りたい点について、これより説明いたしたいと思っております。

お手元「資料1」のP.1をご覧ください。

「1 はじめに」ということで、「基本計画」の策定にあたって、基本的な事項を記そうと思っております。

「(1) 基本計画策定の目的」については、本検討会議の設置目的でもあります、「県内で野球に親しむ子どもや球児が『夢や希望を持ち、憧れを抱くプレー環境』を整備する必要がある」などの旨を記すこととなるかと思っております。

「(2) 基本計画策定の経緯」については、本検討会議で議論を重ね、計画内容の検討を行った旨を記載いたします。

「(3) 今後の野球場の在り方についての基本的な考え方」についてですが、今後の「オロナミンC球場」がどのような施設であるべきなのか、という「コンセプト」を設定して、これに基づき今後の整備内容を検討していくことになると考えております。

「コンセプト」につきましては、検討会議における委員の皆様からのご意見を整理しまして、次回以降の検討会議において事務局より「案」を提示いたしますので、それを「たたき台」として、皆様に議論していただこうと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

P.2をご覧ください。

「2 前提条件」でございます。

この度の検討及び計画策定の対象施設は、「オロナミンC球場」でありますので、まずは、「(1) 鳴門総合運動公園野球場について」として、オロナミンC球場の「沿革」や「概況」、また、委員の皆様から頂いておりますご意見を参考に、「現状と課題」などを記載しようと思っております。

次に、「(2) 敷地条件」につきましては、「都市計画上の位置づけ」や「関係法令による規制」などの条件を整理して、記載することとなります。

そして、「（３）鳴門総合運動公園野球場の位置づけ」としまして、本県における「オロナミンC球場」の位置づけを整理し、これにふさわしい施設として必要な整備内容を次項以降に記していく、という構成としたいと考えております。

P.3をご覧ください。

「３ 今後の対応手法及び施設計画」でございます。

まずは、「（１）今後の対応手法」についてであります。本日、オロナミンC球場現地を皆様には視察していただきまして、改めて老朽化している現状をおわかりいただけたことと思います。これに対応する「建築的手法」といたしましては、非常にピンポイントで、課題が生じている箇所に対し、限定的に対応する「補修」、現存する施設をある程度活かしながら、一定期間施設利用を止めるような形で、課題に対応する「改修」、この際、現存する施設を建て替える「改築」のいずれかによることが考えられ、それぞれに「メリット」「デメリット」があると考えております。また、一方で、例えば照明塔については平成27年から29年にかけて改築工事を行っており、かなり新しい設備であります。このように、今後も引き続き有効に活用できる設備については有効活用する、という視点も重要かと思えます。今後、これらのことが具体的に議論できるような資料等をお示しさせていただきたいと考えておりますので、それぞれのお立場からご意見を頂戴できればと考えております。

次に、「（２）今後の野球場に必要な機能」「（３）施設の主要諸元」につきましては、やはり本県において、最もグレードの高い野球場である「オロナミンC球場」について、今後必要であると考えられる機能や設備について、委員の皆様からのご意見をとりまとめ、これを可能な限り計画に反映していきたいと考えております。

第1回会議において頂きましたご意見は、後に説明いたします「資料2」において整理してお示ししておりますので、前回頂いたご意見に加えてのご意見や、これを補足・補正するようなご意見を引き続き頂ければと思います。

P.4をご覧ください。

「（４）事業費」「（５）運営」につきましては、どのような手法を用いて、どのような球場としていくのか、ということが、ある程度目処がついてきましたら、その内容に応じて所要の経費等を算出し、記載していくことになろうかと思えます。

最後に、「４ スケジュール」についてですが、こちらに関しても、どのような手法でどのような球場としていくかに応じて、整備に必要なスケジュールが見えてくると思えますので、先ほどの事業費などと同様に計画策定の進捗に合わせて、一定のスケジュール感をお示し出来るものと思えます。「資料1」についての説明は以上となります。

続きまして、「資料2」をご覧ください。

第1回検討会議において、委員の皆様から出たご意見のとりまとめを「資料2」のとおりさせていただきました。

委員の皆様から出た様々なご意見を整理・分析いたしまして、資料記載のとおり、

- ・「安全・安心」な施設とするためのご意見
- ・「現代のニーズ」に応じた施設とするためのご意見
- ・「よりグレードの高い」施設とするためのご意見
- ・その他のご意見

に分類いたしております。

それぞれのご意見の分類状況は、資料記載のとおりでございます。今後も様々なご意見を頂戴することとなると思いますので、その際の参考となるよう引き続き、頂いたご意見の集約と整理を続けて参りたいと考えております。また、これらのご意見については、「基本計画に反映すべき内容」と「設計段階において検討すべき内容」に分かれてくると思いますので、そのような視点での整理と皆様へのご説明についても、今後行って参りたいと考えております。引き続き、忌憚の無いご意見を頂けますようお願いいたします。

最後に、「資料3」をご覧ください。

第1回検討会議において、

- ・近隣他県との比較で、本県が目指すべき施設が、何県のどの施設か知りたい
- ・そのためにも、よく似た規模感の都道府県で、どのような施設が整備されているかというものを整理していただきたい

とのご意見を頂きましたことを踏まえまして、近隣各県において「オロナミンC球場」と同じような位置づけにあると考えられる野球場の一覧を整理いたしました。本県における主要球場として、「オロナミンC球場」「むつみスタジアム」「J A アグリあなんスタジアム」を整理し、他県においては、NPB球団の本拠地となっている球場を除き、収容人員の規模から「1番目」と「2番目」の球場を整理いたしました。なお、愛媛県においては、「県営」かつ「5,000人以上収容」の野球場がなく、「1位」「2位」いずれも各市営の球場でした。本県において、最も収容人員や施設規模が大きい「オロナミンC球場」の今後のあるべき姿として、参考とすべき野球場がいくつあるか、という点についてもご意見など頂けますと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。資料の説明は以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【会長】

はい、ありがとうございました。ただいま事務局から説明がありましたけれども、時間も限りでございますのでもう一度整理をさせていただきたいと思っております。

もう一度資料1をご覧ください。1ページ目の(1)と(2)については、今後、今も話がありましたように事務局の方で案を出していただけるということで、この(3)の球場の在り方についての基本的な考え方、この野球場のコンセプトの検討がまず一番大切なと思います。本日は行いたいという議題でございます。

3ページ目でございますけれども、今後の検討についてというところで3つ書いていただいておりますけれども、こちら大きなものとして対応手法、「補修」か「改修」か「改築」なのかって

ということと、もうひとつどのような機能・設備を備えた野球場としていくかっていうことなんですが、これ（１）と（３）はあるんですけども、まず最初にやはりどんな設備を備えた、どういう球場にしたいのかっていうことをまず最初に考えるべきでしょうか。そしてそれを作るためには、これは改修できるかな、やっぱり改築でないと無理だろうっていうそういう話というのはですね、やはり作りたい球場によって変わってくるんだろうというふうに思いますので、今日は時間のほうも限られていますので、まずは下のほうのどのような機能・設備を備えた野球場とすべきかというのを今日皆様方に設備を見ていただいて、その辺のお話をしていただきたい。その際にですね、先ほど資料３にありますような他県の野球場と比較しまして、せめてこの辺の野球場っていうのを目指したいなっていうものを話の中に入れていただいてもかまわないかなって。そのほうがわかりやすいような気がします。ちょっとやはり第１回目の時にはいろいろな非常に細かいものから大きなものまでいろんな意見を頂きました。これを資料２のほうにもまとめていただいていますけれども、これを踏まえ、意見そのものからいうと、この間出尽くした位たくさん出たのかもしれませんが、今日は改めて施設を見ていただいて、やはりこれはこういうものは必要だってもっとわかったと、優先的にこういうことは絶対実現していただきたい。こういう施設にしたい。その中に将来のビジョンといったものをどういうものにしたいという、例えばこの間ではですね、プロ野球を呼べるような球場にしたい、子供たちに夢を与えるようなとか、徳島県のプロ野球選手が凱旋を飾れるような球場にして欲しいですとか、そういったお言葉でお話していただいても構いませんし、目標といったものを定めながら、どういった条件、その中でこういった条件をつけたいなど、もう一度重なった意見で構いませんので頂ければと思います。

なお、先ほどですね事務局の方から話がありましたけれども、今回この間の議論の最後にありましたけれども、対象はオロナミンＣ球場っていうことにしたいということですが、この間いろんな意見がありました中に、差し迫った問題として駐車場が今のままでは呼べないであろうと。例えばプロを呼ぶにしても駐車場が今のままではだめだと。サブグラウンドもないといけない。また、雨天練習場はどうするんだと。そういった話もございましたが、今回はそれは意見として、必ず補足意見として出すから、必ずつけたいとは思いますが、まずはこのオロナミンＣ球場を今の場所に作るというのが、やはりそういった検討をしてもらいたいということになるんでしょうかね。この間、委員から緑化率、公園ということで、なかなか今の敷地内だけでいろんな施設を作るのはやはり難しいという話が出ましたので、そのためには、やはりある程度の土地をですね、拡張するというか、これを拡張していくっていう議論も必要であるし、そのための財源等も必要となってくると思いますので、それを中期的な目標としておいていただいたら。これは、しかし大事なことです、いろんな事が揃わないと目的っていうのは達せられませんので、それはまた別にですね、議論する機会を設けるというような形で、とりあえずオロナミンＣ球場をどうするのかということによってよろしいでしょうか。

【委員】

異議なし。

【会長】

ありがとうございます。いろいろご意見あると思いますけれども、このような議論でお願いしたいというふうに思います。

それでは、今日見ていただきました印象も含めてですね、それぞれ「プレーする立場」、それから「見る立場」、「支援をする立場」、3つの立場がございましてけれども、どの立場からでも構いませんので、皆様方のご意見あればよろしくお願いします。

【委員】

今日は寒い中ご苦労さまです。

今、会長のほうからご案内あったんですけれども、やはりオロナミンC球場を見る限りですね、やはり安全安心とは言えないんですね。やはりどのような球場を作るかっていうことはコンセプトもあるんですけれども、やっぱり安全安心でないと、今でも使うこと自体も非常に危険だっているのを感じました。ですから、改修で行くのか改築でいくのか、そういう話より、今とりあえずこの球場を使って県内の野球関係者が運営せざるを得ない、この現状を鑑みてですね、やはり一番先ほど職員さんがご案内してくれた、設備部分を説明してくれました。ああいう今すぐにでも危ないようなところがあってですね、やはり利用者としたら、とりあえず球場全体のことも考えるのも大事なんですけれども、ベンチの上から梁が崩れて落ちてくるような、やっとな貼ってくれる、そんなとりあえず必要なことかもしれないんですけれども、大きなことより小さなことをコツコツやる。それかもう全面的にやりかえるか。二つに一つしかないような気がするんですね。今日見る限りはですね、非常にもう腐食も激しいし、専門家の先生がたくさんおいでになるので、建物についての論法は言えませんが、利用者サイドから話をさせてもらったら、極めて危険な球場だと感じました。よろしくお願いします。

【会長】

ありがとうございます。皆さん方、その点については同じ意見でなかろうかというふうに思います。手法についてっていうのは、できれば改めて第3回でもう一度専門家の先生たちのご意見もお聞きしながら決めていきたいなと思いますけれども。少なくとも天井からいろんなものが落ちてくるとか、いろんなものが腐食して倒れそうとか、段差があって非常に困るとか、そういう状況では安全安心な球場とはとても呼べないなと認識できたと思います。そこは、まず、しっかりと押さえていかなければと思います。

【委員】

安全安心については当たり前だと思います。これは目標にする話ではないってことで、これは今すぐにでもしなければならぬとは思いますが。実際に高校野球運営の中で「天井からコンクリートが落ちてきたんですけど、どうにかかなりませんか？」っていうお客さんが来ることがありました。実は私も思った以上に悪かった。今回資料を見せていただいて、いつも運営をしていますけれど、古いというのは分かっていたんですけど、でも例えば我々行かない器具庫の中であつたりとか、思った以上に悪い。スタンドも思った以上に悪かったです。もし災害があつた場合に、高校野球は半月以上の期間かけてやります。結構長いこと球場を占有させていただいてしております。その間に例えば地震が起こるであつたりとかいろんな災害があるときに、観客の誘導をするっていう計画も当然立てます。あの球場で、どこに誘導したらお客さんは安全なんだと言ったときに、どこにいても危ないっていうことなんです。裏の通路、スタンド側の通路も上からコンクリート落ちてきますから。そこへ観客を誘導して上からコンクリート落ちてくるのにどうするんだっていうふうになってしまいます。でも、あそこ危ないです。っていうことなんで、安全安心というのはもう最初からクリアしなければならず、検討するのであれば、やはり徳島県で一番いい、県民が誇りをもって、野球する子が誇りを持ってする野球場っていうことを目標にするのであれば、していただきたい。

それは、やっぱり日本で一番高いレベルの野球が見える、そういう野球を子供たちに見せてあげられる野球場ということで、細かいことを言い出したらいっぱいあるんですけど、結局NPBの公式戦ができるスタジアムであればたぶん必要なものはすべて入っていると思いますので検討する段階でそういうのを入れていただくといいのではないかと。エレベーターも当然ありますし、当然必要になってきますので、そういう考え方で考えていただくと全て皆さんの希望が入るのではないかと思います。

危ないのは今すぐにも対応していただいたほうがいいと思うんですけど、多分球場の方も安心して働けないんじゃないかと思いますので、あの外野側のフェンスも試合中に、もし倒れてきたときに球児がケガすると、それどうするのかと言われると言葉もないですから。やっぱり、そこら目標にするのは夢のある話で、安全安心は今すぐにでも検討する方向で考えていただければ良いのではないかと思います。

大きな球場のいろんなサンプルを見せていただきましたが、これとは別に「沖縄セルラースタジアム那覇」なんかは古いんですけども、1960年にできた球場なんですけれども、12年前に改修して、収容人数は少ない、内野が1万5千で、全部で2万位にしかないんですけど、オーロラビジョンもあって、改修してからずっとプロ野球の公式戦もあって行われています。今年も5月に連戦であります。というような形で決して大きくなくても内容が充実していればプロ野球の公式戦も誘致することができますし、一番いいのは内野1万5千で9千人くらいがたぶん屋根の下に入る、そういうことで、夏場に我々しますので、そういうふうな中でのお客さんの熱中症対策にも気を配ることができますので、そういう

のも一応サンプルに加えていただけると嬉しいなと思います。私はどちらかというと夢のある話を、できたらこの会でしたいと思います。

【会長】

ありがとうございます。

確かに安全安心というのは基本の基本であるということは当然のことです。まず、その辺で話が終わってしまうと、こじんまりとしたものになってしまうであろうと。やはりまず皆さん方に共通理解として委員さんが言ってくれたように、子供たちに夢を持ってもらえる、誇りを持ってもらえるような球場にしたいというような文言というか、コンセプトというのは、その辺は皆さん方はご同意なさっていただけますでしょうか？

そのためにNPBを公式戦で呼べるような球場であると、ひとつ具体的な例として上がりましたが、このことについても同意をしていただけるでしょうか？

【委員】

是非お願いしたいですね。

【会長】

それがひとつの目標ですね。そうすると、ある程度集客できる人数が、ある程度一定数以上、大体2万人弱ぐらいですかね。

【委員】

セルラースタジアムは2万人は入っていないと思うんですけど。

【会長】

今言っていただきましたように、熱中症対策での9千人くらいが屋根の下に入ると。段々話は大きくなりますけれども、その位のNPBが使用してもらえるような条件というのをもしできたら、それを次までにもう一回調べておいていただけると、話が進んでいくというふうに思いました。だから、今お話がありましたように、今の視点の中では、自然災害が、いざ起こった時に対応できる、そういう球場であるということが、これはもう当然新しい施設を作るためには必要であると思います。動線であったり、そういったことが必要であると。あと、また例えばこの間の話でいったら、障がい者対応とかっていう話、今日も見ましたけれども、なかなか車いすで見に来ることが非常に難しいなという皆さん方も思われたでしょうが。こういった視点からも見ていく必要があるのかなと。ありがとうございました。なんとなくこう感じが見えてきた気がします。他にご意見いただけますか？

【委員】

ただいま委員のお二人の建設的な意見を聞かせていただきまして、実際に本日野球場を見せていただいて、老朽化が非常にひどいと感じました。私は実際にグラウンドを使うこともありますけれども愕然となりました。バックネットなんかは非常に悲惨なものです。本当に危険があると思います。私は今の球場では無理ではないかと思っています。以前に軟野連の方や学童の関係者が来られたときも同じことを感じました。やはり、それとサブグラウンドが必要ではないでしょうか。どこか土地があれば、まずサブグラウンドを作り、そこで内野席だけでも良いと思うので高校野球ができるようにグラウンドを整備することが必要ではないでしょうか。とにかく球場を新しく作らなければならないと思います。新しい照明は残して、球場を建て替える方向が良いのではないかと思います。

【会長】

ありがとうございます。また、そのことについて次回以降に検討したいと思います。それでは他に何かございませんか？

それでは本日、現地視察を行ったうえで建築の専門家の皆様方の意見をお伺いしたいと思いますが、具体的にどのような手法がいいかということについては、もう少し資料等が必要かと思っています。今後の検討について、このような資料が必要であるといった要望がありましたら、申し付けていただければ、事務局をお願いしていきたいと思います。

本日、現地視察を行い、どのような印象をお持ちになりましたでしょうか？

【委員】

本日、実際に現場を見せていただいて、前回の写真で見たよりも、かなり状況的にはひどいかなというような印象でした。特に、ギャラリーのベンチの裏側から見たときに、天井のコンクリートがかなり剥がれており、鉄筋もむき出しの状況、スタンド側から見るとスタンドの床が落ちている、そのような状況ですので、このような状況を補修というレベルで直していくことは、できないことはないでしょうけれども、非常に骨が折れる作業になるのではないかなと思いました。そうしますと、次回の会議では、改修か改築かっていうそういったところになるかと思うのですけれども、条件としましては現位置で改修か改築等を行うということでしたので、まずは費用面で、どういう手法をとった時にどれくらいの費用がかかるか、もうひとつは、やはり県内で一番大きな施設ですので、代替の機能があり、建て替えや大規模な改修をするにはどのくらいの工期がかかり、その間に毎年行っている大会や行事等が代替施設で実施できるのか、あるいはできないのか、そういったスケジュールを併せて提示いただけると実際、大会運営をなさっている野球関係者の委員の皆様にも判断材料になるのではないかと思います。

【会長】

ありがとうございました。

それでは次の委員の方をお願いします。

【委員】

本日、実際に見させていただいて、建築的にも目に見えてわかるような劣化している部分であるとか、それから球場を使用して不具合が発生しているところを聞かせていただいた上で、やはり今あるものの使い勝手をどのようにしていくかという課題があると思いますが、果たして建築的に、例えばブルペンの梁が迫っているところは直そうと思っても難しかったりしますが、それを使い勝手の面でクリアしていくことと、それを建築的にどのように解消していくことができるか、それぞれ別軸で考えていかないといけないと思いました。次に内野スタンドのコンクリートが剥離し、中の鉄筋が見えていることも、やはりお客さんが出入りするときに、見て安心できるものではなく、視覚的に不安を与えるのではないかと思います。あとは、建築後48年間の中で、照明を新しくしたりとか、耐震機能を取り入れたとか、様々なメンテナンスのことを前回の会議でお聞かせいただいたのですが、日ごろの建物へのメンテナンスをこれまでどういうふうな頻度で施設管理側がされていたのか、そこも少し気になったところでして、現状みたいなことは、昨日今日で急に変わるわけではないので、徐々に徐々にひどい状況になったと思いますので、それをもう少し手前の段階で補修できることがあったかもしれないと思います。そうすれば、今程ひどい状況になっていなかったのではないかと思います。つまり、今後、新しい建物に建て替えたとしても同じことが起こりうるという可能性はあるなと思います。やはりそういうところが、日頃からメンテナンスをしていると、新しい建物に建て替えたとしても月日を経つにつれて劣化し同じことが起こるといけないと思いますので、今回のようなことが起こらないということを踏まえて、もし改修するにしても建て替えにするにしても、そういうことを心がけていく必要があるのかなというふうに思います。

【会長】

ありがとうございました。

今後、いずれの工法にするのか分からないですけれども、同じような問題が起こってくるとのこと。今後の維持管理の事も視野に入れていくということも必要なことかもしれません。ありがとうございます。

【委員】

ただいまお二人の意見を聞かせていただいて、プロだからどうこういふのではなく、素人が見ても危険という印象でした。現在、夏の高校野球で球場が使われている際に超満員になることはないと思うんですけど、なので今ちょっと余力を持って踏ん張っているイメージです。例えばプロ野球の球団が試合をしてくれて、ヴォルティスの試合のように観客が詰め寄せた際に観客席の裏側のコンクリートの爆裂を見ていると不安だなというのが正直なところ

ろです。次回以降、3回目以降の議論になるというお話だったんですが、せっかく比較表を作っていたので、それを拝見しての意見ですが、グラウンドの良し悪しや規模もあると思いますが、徳島県だけが収容人員数1位2位の球場を県有施設として持っており、他県は市営も含めて混在していますが、徳島県だけ、むつみスタジアムとオロナミンC球場を維持管理している。先ほど話がありましたが、どのような素晴らしい施設を作ったといえども維持管理というのは付いてまわる話だと思いますので、そのリソースを蔵本と鳴門の2つに今後も注ぐべきなのかどうなのかと比較表を見て思いました。

【会長】

ありがとうございます。

確かに資料を見てみますと、県内の主要な野球場施設を集中して所有しているのは本県だけということが分かりました。そこで、限られた財源の中でどこに集中していくかといったことは非常に大切であると思います。

今回のオロナミンC球場の在り方の検討にあたって、むつみスタジアムやJAアグリあなんスタジアムもありますけれども、県内の野球場の位置づけとして、どこが良いとか悪いとかいう話ではなくて、グレードとしては、どのような位置付けにしたいと考えているか事務局より可能な範囲でお答え願います。

【事務局】

先程お話をいただいております、やはり第1回目の会議でもお話をさせていただいたとおり、オロナミンC球場、こちらのほうは本県での第1番の球場という認識でございます。これについては、おそらくプレーヤーの皆様にも異存のない評価ではないかと考えております。我々といましては今後、老朽化対策を施した後につきましても、オロナミンC球場は本県で一番高い水準の球場であるというような形で維持をしていきたいと、このように考えているところでございます。以上でございます。

【会長】

わかりました。そのような認識で進めていきたいということですね。先ほど委員からお話がありましたが、今後、優先順位がどうなるかは現時点では分かりませんが、サブグラウンドであったり、駐車場であったりとか、ある程度のスペースが必要になってくることを考えると、やはりオロナミンC球場は、まだ余地があるのかどうか、軽々しく私が言えることではないですが、現状、例えばむつみスタジアムであれば、周りがほぼ住宅地であったりしますし、それからスペースのことを考えたときに、ここにもっていくというのは、ある程度融通が利くのかなとも、私見ながらに思います。ということで、オロナミンC球場を夢のある球場にしたいということで、先ほどお話にありましたように、条件もいろいろありました。やはり収容人数であったり、防球ネットも含めてですね、本日の話を聞きますと、1塁側は

対策が充実していますが3塁側は危険であるとか。防球ネットを設置しようとしても、内野スタンドの構造上高いネットを建てるのは難しいというようなこともあるといったように、設計の段階である程度決めておかなければいけない、また、どういうものを作らなければいけないと条件を決めておかないとできない部分もあるのかなと思いますし、また先程のブルペンの話であったりアップをする場所が必要であるとか、このようなものを総合的に考え、もしできるものであれば、そのようなご意見全てに対応できるかどうかはわかりませんが、できるだけ含んだような施設を要望していくことがやはり大事なことだと思います。費用の事はまだ私もわかりませんが、我々としては夢のあるものをしっかり要望し、作っていくということをしていきたいと思います。具体的なものも含めて、こういうふうなものが欲しいというようなご意見はありませんでしょうか。

【委員】

ただいま会長がおっしゃった内容で私は大きな球場というか、プロ野球呼ぶために、スタンドがたくさんあって、観客の収容人員が多いっていうふうなのでもいいと思うんですよね。費用もかかるし、時間もかかるし、そういうことではなくて、例えば丸亀市民球場ですかね、ああいうふうなレベルであってもですね、雨天練習場から会議室からすべてが備わっている、それであまり費用もかかっていないとお聞きしております。松山の坊ちゃんスタジアムは相当の多額の費用がかかっているときいております。そういうふうなものを目指すんじゃなくて、費用も掛からないし、工期も短く済むのであれば、やはり今の現状のオロナミンC球場を見つめ直したときに、そっちのほうが得策なんじゃないかと感じております。ですから、大きなドーム、甲子園とかそういうふうなものではなくて、地方の徳島・鳴門でするプロ野球の選手が年に1回位のことより、高校生が頻繁に使えて、そしてある程度の人数が入れば、私はそっちをベターにして、たくさんの費用をかけて球場を作る必要はないと思います。今のこの非常に危険な状態である球場を、相対的に考えたら、あそこを直しここを直しそんなことをするより、こっちのほうが手っ取り早いし、安く上がるような気がします。素人目ですけども。以上申し訳ございません。

【会長】

ありがとうございます。

夢を持てる球場っていうのがですね、単に大きな球場というわけではないというご意見。NPBを呼べるだけの最低限の容量は必要かと思うんですけども、ただ単に大きく立派だけではなくて、そこよりも安全性でだったり、利便性であったり、また現在のニーズあったものをしっかりと追及していくという点でもある程度体を動かせる場所っていうのが確保ができるのであれば、そういったものを優先して、使ってみたいなと思えるような球場っていうのが大事、必要なんだと。

そういうふうなご意見は皆さん方どうでしょうか？やはり大きい方が良いと思われ

か？本県の方々が他県から来てくれた方に「あっ、ここ良い球場だな。」っていうふうに見えるのは大きさではないですよ、やっぱり。

プレーしたり見たりしたものが、本当に「あー来てみてよかったな」と、「良いな、すごくいい感じに見えたな」とか、またテレビ放送等、マスコミの意見なんかも、放送局なんかの意見っていうのも非常に大事だというふうに思いました。先程、委員さんからネットの話をしてくれましたけれども、話をしている時に、色によって放送する時に映り方が違うらしいです。黒いネットは放送できるけど、緑のネットは放送はできないらしいです。とかですね、こういったあたりの話も聞いてですね、放映するとかいうことも念頭にいれていろんな使われる方々の意見をしっかりと聞いていくというのも大事だと思います。

【委員】

先日もお話をさせていただいて、2点ほどお話したいと思います。

まず私どもはスポーツの産業化という形で、野球も含めた形で交流が増えたらと、そのような形で、積極的に大会などの誘致させていただいています。これまでも海外から、韓国、中国、韓国の高校生、中国の小学生、国内であれば社会人チームに合宿していただいたりしております。その中でやはり今議論、付帯意見にという話もあったんですけど、雨天練習場とか。大きなNPBの大会が試合が開催されるっていう当然我々としてもありがたい話だとは思っておりますが、やはり使い勝手、稼働が多いような形の施設っていうのは使いやすい、皆さんに喜ばれるような施設っていうのは目指すべきなのかなというふうに思っております。

あと、もうひとつ、ここは広域の防災拠点になっておりますので、もし災害の時に使える形でいろんな防災にご配慮いただけたらと思います。

【委員】

ありがとうございます。

また先程の話になりましたけれども、県それから地元自治体にしてもですね、ご協力いただきながらですね、いい施設になってくれたらなというふうに思っております。

その他意見として、一言頂けるとありがたいです。

【委員】

私が、以前、いろんな球場で試合をさせていただいたんですけど、レグザムのボールパークのほうで試合をさせていただいたときに、球場内に室内練習場っていうか小さい感じなんですけれども、軽くアップができたり、ノックができるくらいの室内の練習場があったので、待機する選手たちがそこで体を動かすことができたので、そういう部分で大きな室内練習場なんかも必要かと思うんですけど、軽く体が動かせるくらいの大きさの室内練習場も球場の施設内にあったらすごく有用かなと思います。

【会長】

ありがとうございます。

やはり使う立場として快適だっている中には、そういった試合だけでない部分っていうのも重要な要素である。もし可能であればそういったことも現場の中には多々あると思われます。また次回からそういったところも作る時にですね、入れるとすればどういうふうにしたらいいのかということもしていきたいなと思います。

あとはいかがですか？

【委員】

本当に現地を視察させていただいてびっくりしたっていうか、私は本当に観戦っていうか、スタンドとかにあまり行かなかったのだからなかったということがあって、本当に私たちが見ているのは氷山の一角だって、本当にいろんな設備を手当てしていただいているんだなっていうのを改めて感じて、まず人命のことを考えたら、どうのこうのいうことできないなって、まず安全安心のことを考えていただきたいなって思ったのと、夢とかはどんな球場がいいかなっていう部分では、ドーム球場は遠いんですね、プレーする選手と観戦するのがすごく遠くて、広島球場では本当に近くに感じられるので来ていただいたお客さんとプレーする選手が一体感があるような球場がいいなという、プレーヤーに近い、本当に一体感があるのいいなと思うんです。なんでまあ安全安心なんですけど、そういうふうな小さくてもいいので一体感がある球場がいいと思っています。

【会長】

なるほど。見る側の視点、いわゆる都会にあるような大きい球場より、地方のいい球場っていうコンセプトを目指すということですね。ありがとうございました。

他にございませんでしょうか？この際ご意見あればお聞かせください。

【委員】

視察お疲れ様でした。寒い中やっと思考力が戻って参りました。

見させていただいたんですけれども、スタンドのクラックなんか、とてもじゃないけど改修とかいう形では、完全に無理なんじゃないかなと思います。補修も無理だと思いますし、ダッグアウトを見ても、後ろの控室等見ても非常に換氣的なものも悪いし、昔からの造りだと思うので、環境的にも難しいかなと思いますので、いろいろご意見頂いていたみたいで、収容人数はそんなになくてもいい、ただプレーヤーのためにどういうふうな形が一番いいのかというのをまず前提において、改築っていうことが、今日改めて見させていただいて、非常に危険な部分もあるしっていうことは今日痛感しました。

【会長】

ありがとうございます。

やはりいろんなもの見て、いろんな不具合がどうこう言うた時に、あれでいけるのかなと、ちょっと部分的に手直ししたのでいけるような気が、なかなかしないという印象があるんですけれど。そこは、また次回、今出てきたようないろんな、アップが出来るような練習場であったりとか、ダッグアウトのご指摘あったような事ですとか、できたら会議室があって、監督会議や抽選会ができるようなところがあったらいいなって、そんな事を言っていると根本的にはなかなか難しいかなって言うところを感じるところですけれども。

とにかくそれについては、また審議するとして、まずこういうようなものが欲しいって言うことを今日は話し合えたらなっていうふうに思っています。

【委員】

現地を見させていただきまして、思った以上に皆さん思っておられるのと同じように、大変悪いんだらうなということがわかって参りましたので、危険な部分については早く対応しなければいけないので、早く意見をまとめて何かの形で手当てをしていかなければと思っています。

夢と希望、あこがれの球場ということであれば、かなり抜本的にやらなきゃいけないし、入れるものはたくさんあるんですけれど、すべてが入らなければ優先順位を決めて入れていかざるを得ないかなと思っています。

私共は、よその県からたくさん来ていただけるようなコンベンション、大会、合宿とかっていう話を優先、誘致をしていきたいと考えているんですけれど、そのすべてを満たすことはなかなか難しいかもしれないというふうなことも思っております。

NPB という話はですね、知名度が上がるという点でも大変期待をしたいところではあるんですけれども、誘致そのものもなかなか難しいこともあるかもしれない。

まずは安全な環境、快適な環境、使い勝手のいい環境を作っていただければ、またリピーターとして使っていただけるでしょうし、その合宿なり大会なりってということで、もっとリクエストのあるものについては、公園の中以外で整えていくようなものも必要になってくるかもしれない。そういうことも考えていただいて、まずはいい球場を作っていただくということが一番かなということをお思っております。

【会長】

ありがとうございます。

やはり球場だけではなかなかね、先ほども委員さんの話もありましたけれども、他の施設もないと、なかなか来てもらえないとか、駐車場もそうですし、いろんなものが総合的に揃わないと抜本的にはなかなかいかないんですけれども。

まずは、そこから始めてですね、NPB、今話に出ましたけれど、いろんな合宿の誘致であっ

たり、社会人野球であったり、高校野球も阿南のほうはいろんな誘致してますよね。合宿等もしてますよね。そういったいろんな使い道っていうのを想定しながら条件は必要になってくるかなって思います。また、委員さんが前におっしゃっていただいたグラウンド自体の部分についてですね。今日もマウンドが低いなっていう話を途中でしておりましたけれども、やはり使ってみていい投げやすい球場、守りやすい球場だなっていうのも非常に大事な視点かもわからないと思います。やはり野球場である限りはそれがまず本当は一番になるかなっていうふうに思います。

それと、今日一緒に見せていただきましたけれども、バックスクリーンですかね。あそこもいろいろ話ができましたけれども、その辺について、なにかご意見ある方はございませんでしょうか？

【委員】

今、会長がおっしゃった件で参考までに。

私どもの子供が小学生ですので、マクドナルドトーナメントっていう大会で100チーム位参加しているんですけども、今年本部から言われたのは、マクドナルドトーナメントでオーロラビジョンが使えるかっていう質問があったんです。ありません。ないです。すでにそういうふうな状況なんです。ですからオーロラビジョンっていうと、相当な金額もかかりますけれども、バックスクリーンの現状、我々が使っている現状として、パソコンは直っていますか？

【指定管理者（徳島県スポーツ協会）】

パソコンは順次更新しています。

【委員】

先程、センターバックスクリーンの向かい側、後ろ側で話したんですけど、開会式のとき音が全く聞こえない。国旗掲揚とか君が代鳴らしているんですけども、ブラスバンドや県警が来て、全くわからないから高野連も一緒です。いわゆるトランシーバーでやり取りしている。それにスピーカーを付けてくれって言うたら、やっぱり相当な金がかかる。旗も5本あって、ただ本当は5本では少ないんですね。5本の内の2本が上げやすく、あとの3本がまた別のところから上げないといけない。順番に同時に上げるということか、高低がないから、普通はセンターポールって高いんです。オロナミンのは全部整列している。ですから、よいドンで上げて、下で5人いれば順調に上がるんですが、2人は下でいる、3人は階段上がって行ってやってる。まあそういうふうなやっぱりスコアボードの事はあります。それからもし球場全体のことを考えるのであれば、オーロラビジョン。この前委員さんがおっしゃったとおりですね。九州の球場は、「コザしんきんスタジアム（那覇）」もオーロラビジョンですし、「沖縄セルラースタジアム那覇」もオーロラビジョンですね。この間山口に

行ったら、小さな地方の球場でもバックスクリーンだけは、横に長いんですけども、競馬のレースみたいなそういうふうにワンタッチで写せる。そういうふうな感じ。やるのであればちゃんとしたものをやりたいなと。参考までに。

【会長】

ありがとうございます。

予算は限られていると思うんですけども。やはりそういった、時代についていくっていう意味では、そういったことは大事だと思います。

【委員】

時間があんまりないと思うんですが。

一番最初に安全安心の話があったんですけども、今、野球場の中で注意喚起をすることが非常に多いです。熱中症もあります、ファールボールもあります。いろんなことが情報を表示しなければいけないので、そういう点でいくと古いタイプの、今オロナミンCにあるようなタイプは何も表示できないので、安全という点ではやはり非常に難しいところがありますが、オーロラビジョンは流行りでもあるし、たくさんの情報が表示できて視覚的にも良いっていう部分だけではなくて、本来安全なもの、球場の中での例えばこういうことをしないと危ないですよという注意を視覚的に表示する必要がある。例えば、聴覚障がい者がいるとそれはアナウンスでは対応できませんので、視覚的に表示するっていうことが当然必要になってきますので、そういう点からもスコアボードの改修というのは、いずれ必要になると思います。

資料を見せていただくと、実は四国で徳島だけないです。あとみんなありますので、これはもう必須の設備になっているということなんです。まあ委員さんもと申し上げましたけど、当然あるんでしょっていうふうな形で聞かれると思います。ただまあ徳島の施設は古いとみんな思っています。徳島は仕方ないねというふうな形で言われます。これはもうはっきり他県の方が来られると、徳島は仕方ないですよ、雨天もないし、サブもないし、古いし、っていうので、我々も慣らされてきた、慣れてきました。辛かったですけど、最近まあ仕方ないなと思ってきたんですけど、ちょっと夢のある話になってきたので。この機会に若い子が帰ってきて、ここで野球したいと思うような施設が欲しいなっていう。徳島、自分たちが育ったところは古い設備しかなかったんです、大学行ったら良い球場でできましたよ、社会人で就職したら良い球場でできましたって。徳島帰ったらあそこでしょ、って言って帰って来たくないような施設しかないのは、あんまりプラスにはならないだろうと。安全という観点で必要な施設になっていると思います。

【会長】

ありがとうございます。

手厳しい意見をいただきましたが、それが実感なのかなと思います。オーロラビジョンというのもですね、1つ選択肢の中に入れておいていただいて、もちろん最終的なプライオリティーをつけて、それを優先しながら、というのはあると思うんですけども、やはりこの新しくできた時のインパクトとか、そういったものを考えた時に、そういった施設っていうのが他県の球場にほとんどあるのに、厳しいなと。

【委員】

スタンドができて屋根もグラウンドも良くなりました。で、スコアボードはなんであなのっていうふうに多分言われると…。

【会長】

また、それもひとつ、やはり今後目指すということで比べていけばと思います。ちょっと司会のほうがなかなかうまくいかず時間が遅くなってしまいまして申し訳ございません。今のところですね、だいたい多くのご意見をいただいたと思います。この際、今日の事務局に対して、また今日の球場を見て回った質問等ございましたら、聞かせていただければと思います。

また次回ですね、補修、改修、また改築、いずれの手法で対応するかっていう、こうしなければ難しいとか、そういうふうな話になると思います。その時資料として必要なもの、先ほどの中ではNPBの条件であったりとか、社会人や高校生を呼ぶときにこういったものが最低限必要であるとか、そういったものも必要だと思いますし。

あと、事務局において用意すべき資料とかでこういうものを準備してほしいとか、ございますでしょうか。よろしゅうございますでしょうか。もし、また事務局の方に直接お電話・お知らせいただいたら用意をしていただきます。それではありがとうございます。それでは事務局のほうから連絡事項等ございますでしょうか。

【事務局】

はい、ありがとうございました。本日、長時間にわたり現地視察、それから検討会議にご協力いただきまして本当にありがとうございました。

次回、第3回検討会議につきましては、ピンポイントで大変恐縮なんですけれども、令和4年2月3日木曜日14時から県庁10階、大会議室にて開催を予定してございます。

ピンポイントで、また短いスパンでの会議開催でご負担をおかけしており、大変恐縮ではございますけれども、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

また、担当の方から出欠等の確認事項等させていただきます。また併せて必要な書類等ございましたら、ご連絡をお願いできたらと思います。

事務局からの連絡事項は以上でございます。

【会長】

それでは今日の各委員から出た意見につきましては、またまとめていただいて、次の資料に
していただきたいというふうに思います。

それではちょっと遅くなりまして申し訳ございませんでしたが、これをもちまして本日の
第2回徳島県鳴門総合運動公園野球場のあり方検討会議、終了させていただきたいと思
います。

どうも皆様方ご協力ありがとうございました。

(以上)